

株主・投資家の皆さまへ

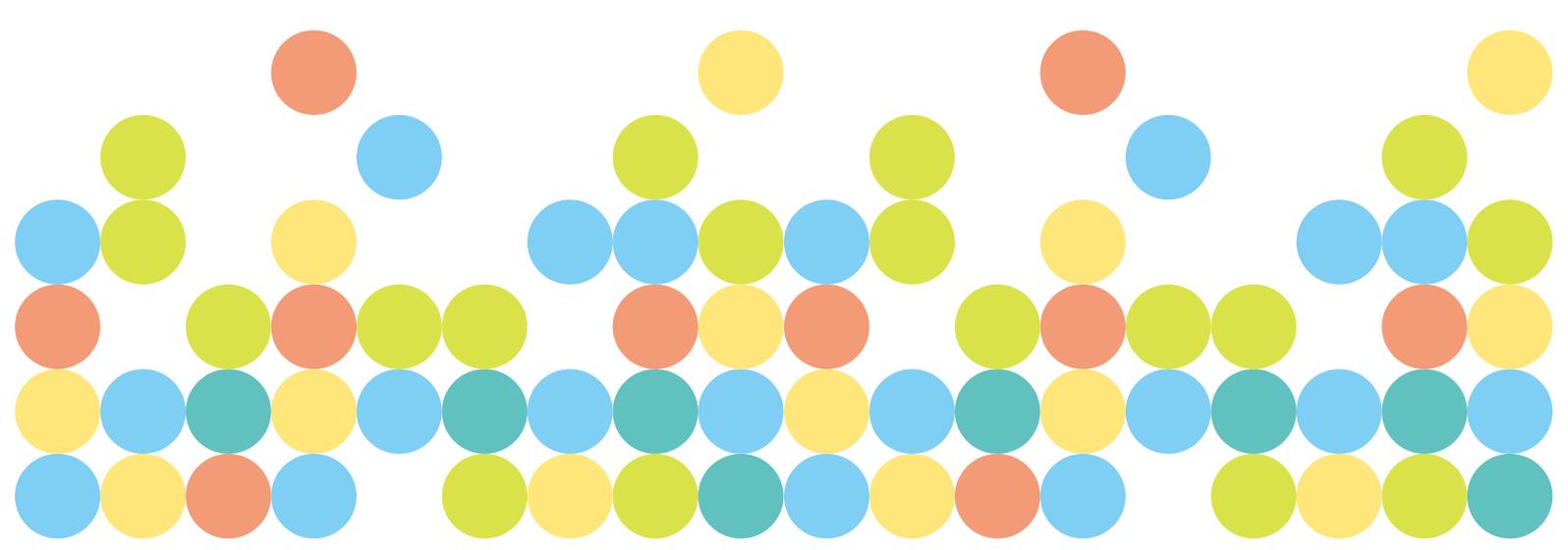
第 **86** 期 **通期**

大和証券グループ
ビジネスレポート

2022年4月1日～2023年3月31日

大和証券グループ本社

Daiwa Securities Group Inc.



株主の皆さまへ



株式会社大和証券グループ本社
執行役社長 CEO

中田 誠 司

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは2021年4月より、3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、「未来を共に創るベストパートナー～Be with you～」をスローガンとし、「クライアントファーストとクオリティNo.1の実現」、「ハイブリッド戦略による新たな資金循環の確立」、「デジタルとリアルとのベストミックスの追求」を基本方針に掲げております。

中期経営計画の2年目となる2022年度は「クライアントファーストとクオリティNo.1の実現」に向けた資産管理型ビジネスモデルへの着実な移行と、ハイブリッドビジネスの拡大による新たな商品・サービスの創出を通じて、収益構造の多様化および収益の

■ 2023年度 大和証券グループ経営方針～ Passion for the Best ～ 各事業部門のアクションプラン

リテール 部門

- 1 資産管理型ビジネスモデルの確立
- 2 多様なお客様ニーズに応える商品・サービスの提供、総資産アプローチによるソリューションビジネスの拡大
- 3 外部チャネルとの業務提携を活用したニュービジネス展開と収益化
- 4 マスマーケティング及びお客様対応のデジタルシフト、サステナビリティへの取り組み

ホールセール 部門

- 1 お客様ニーズを捉えた多様なプロダクト・高度なソリューションの提供
- 2 リテール部門との更なる連携強化によるビジネス基盤の拡大
- 3 収支構造の改善に向けたグローバルビジネスの再構築
- 4 サステナブルファイナンスの促進による企業支援
- 5 デジタル人材拡充とデータ駆動型ビジネスの推進

アセット・ マネジメント 部門

- 1 運用力・発掘力・商品アレンジ力強化による既存事業の拡大
- 2 オルタナティブ資産を投資対象とした商品の開発等、新ビジネスの研究開発・事業化
- 3 不動産アセット・マネジメント事業における資産運用力強化及び事業基盤の確立
- 4 グループ内連携による、不動産等オルタナティブ関連ビジネスの推進



グループ中期経営計画“Passion for the Best” 2023

概要につきましては、当社IRサイトよりご覧いただけます



安定化に注力してまいりました。

2022年度の証券・金融市場を振り返りますと、ロシアのウクライナ侵攻を発端とした資源価格の高騰や世界的なインフレの進行と金融引き締め、円安の進行など、変動の激しい1年となりました。

このような環境下、グループ連結業績は、純営業収益4,642億円、経常利益は869億円、最終利益を示す親会社株主に帰属する純利益は638億円となりました。株主の皆さまへの利益還元につきましては、通期の配当を1株あたり23円(中間配当11円、期末配当12円)といたしました。また、更なる利益還元として、株式総数3,500万株(発行済株式総数(自己株式を除く))に対する割合2.41%)および取得価額

総額250億円を上限とする自己株式取得枠の設定をしております。

2023年度は中期経営計画の最終年度となります。環境変化におれることなく、お客さまの最善の利益を追求した資産管理型ビジネスモデルへの移行を着実に推進するとともに、ハイブリッド戦略により創出した商品をはじめ、新たな運用の選択肢の提供を進めていきます。さらに、トランジション・ファイナンスをはじめとした社会課題の解決に向けた取組みへの一層のサポートを目指します。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年6月

投資部門

- 1 優良な投資機会の発掘、投資先のバリューアップ及びモニタリング体制の強化
- 2 再生可能エネルギー分野でのキャピタル・リサイクリングモデルの推進
- 3 継続的なVCファンド運用ビジネスの確立
- 4 サステナビリティを意識した社会的意義のある投資対象の開拓

その他 (大和総研グループ)

- 1 ITサービスのプラットフォーム化やAI・データサイエンスによる新たな価値の創出
- 2 高品質で安定的なサービスを低コストで提供することで、大和証券グループのコストダウンへ貢献
- 3 お客様企業の特性に応じた営業体制の更なる強化、お客様ニーズに沿ったコンサルティングからシステムまでトータルソリューションの提供、データサイエンスやサイバーセキュリティ等の高度な知見を要するソリューションによるビジネス基盤の拡大
- 4 情報発信と情報収集・意見交換との好循環を起こしてリサーチクオリティの向上

その他 (大和ネクスト銀行)

- 1 預金量の拡大と収益性の両立
- 2 グループ内連携の強化
- 3 国内外の金利環境に応じた運用残高の拡大や、運用対象の多様化
- 4 応援定期預金やESG投融資への継続的取り組み

財務情報

業績概況

2022年度の営業収益は前年度比39.8%増の8,660億円、純営業収益は同7.5%減の4,642億円となりました。

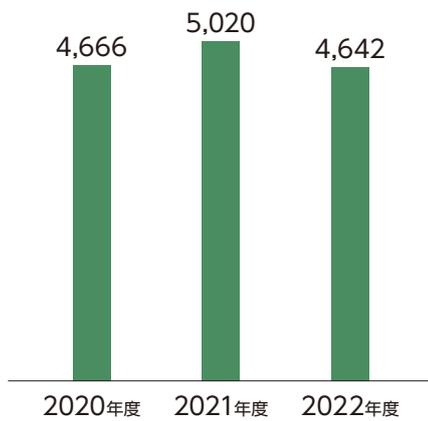
販売費・一般管理費は同2.9%増の3,979億円、経常利益は同36.0%減の869億円、これに特別損益、法人税等および非支配株主に帰属する当期純利益を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は同32.7%減の638億円となりました。

リテール部門では、ラップ口座サービスの当連結会計年度末の契約資産残高が過去最高となるなど収益

に寄与した一方、フロー収益が減少しました。ホールセール部門は、グローバル・マーケットでは、不透明な市場環境を受け投資家のアクティビティが減少し、減収となりました。グローバル・インベストメント・バンキングでは、複数の大型案件を獲得した前連結会計年度と比較して減収となりました。アセット・マネジメント部門では、不動産アセット・マネジメントの運用資産残高が拡大し収益に寄与した一方、公募投資信託の運用資産残高が減少しました。

純営業収益

(単位:億円)



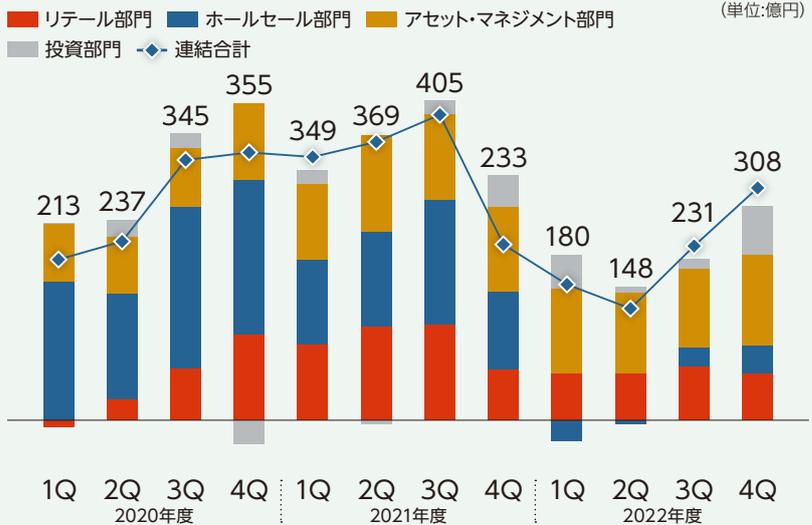
経常利益

(単位:億円)



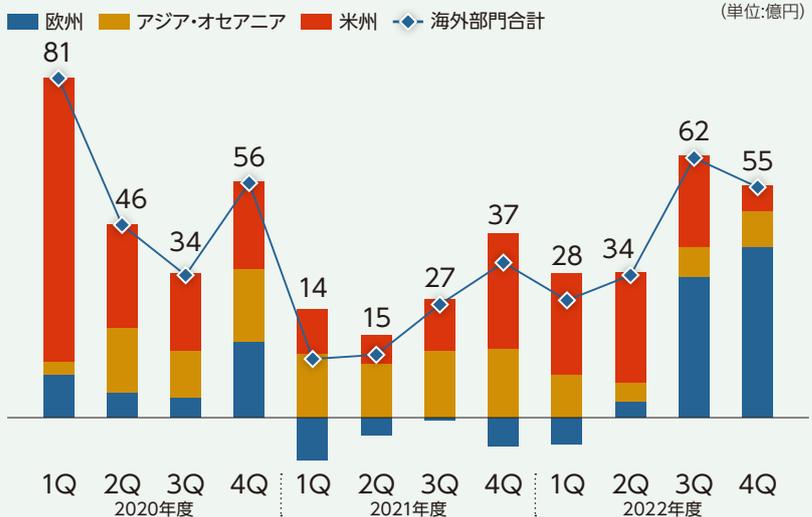
セグメント別経常利益

(単位:億円)



海外部門地域別経常利益

(単位:億円)



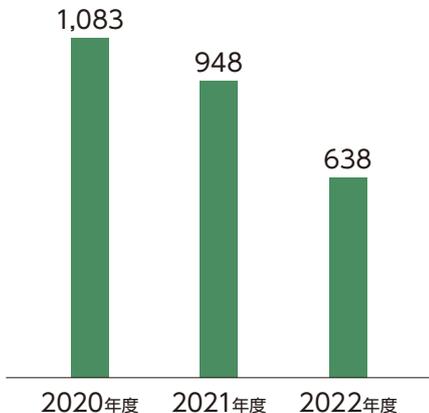


IRメールサービスのご登録はこちら(ご登録・購読は無料)
当社IRに関する情報をご指定のメールアドレスにお届けします!

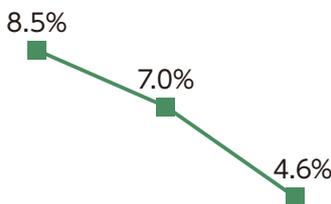


親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:億円)

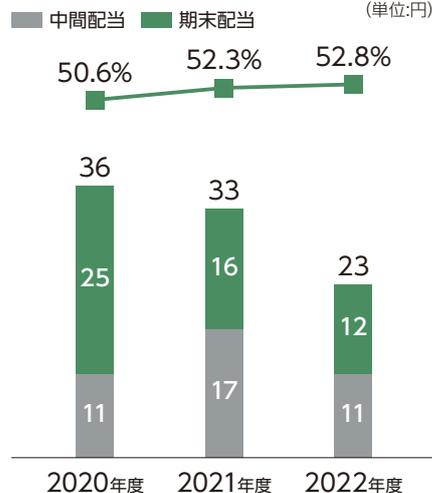


ROE



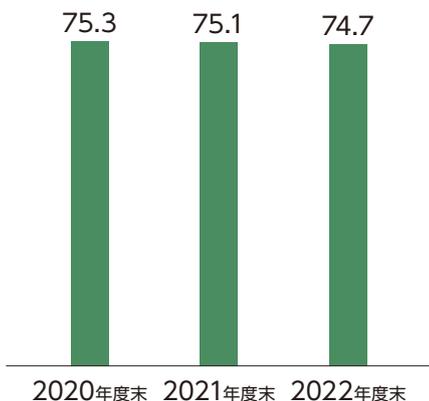
1株当たり配当金/配当性向

(単位:円)



預り資産(大和証券)

(単位:兆円)



連結総自己資本規制比率



信用格付け

(2023年3月末現在)

S&P	
大和証券グループ本社	BBB+
大和証券	A-
Moody's	
大和証券グループ本社	Baa1
大和証券	A3

市場環境

- 当期の国内株式市場は、世界的なインフレーション指標の上昇を背景に、FRBを中心とした各国中央銀行の金融引き締め動向に一喜一憂する展開となりました。日経平均株価は概ね26,000円～28,000円、TOPIXは1,850pt～2,000ptのボックス圏で推移しました。
- 欧米の中央銀行による金融引き締め政策により、世界的に株価のバリュエーション調整が起きましたが、日銀が対照的に金融緩和政策を維持したため、為替市場では日本円が10月に32年ぶりとなる円安ドル高水準を付け、国内株式市場を下支えしました。10月以降には米国を中心としたインフレーション指標のピークアウト・利上げペースの鈍化が示唆されたことから、株価は堅調に推移しましたが、その後の欧米での景気後退懸念の高まりにより、ボックス圏を抜けることはできませんでした。
- 12月の金融政策決定会合では日銀がイールド・カーブ・コントロールの修正を行いました。事実上の金融引き締め政策と受け止められ日本株全体では軟調な推移となりましたが、市場では日銀の政策金利の引き上げ期待が高まったことにより、年末～3月頭にかけては銀行株・保険株を中心とした金融株が大きく上昇しました。
- 当期年度末の日経平均株価は28,041.48円、TOPIXは2,003.50ptとなりました。

国内指標、米ドル/円レート



トピックス

大和証券グループ本社による

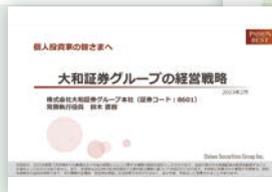
個人投資家向けオンライン会社説明会の開催

2022年度下期の個人投資家向け会社説明会は、オンライン形式で開催し、大変多くの方にご視聴いただきました。

当社ホームページの「株主・投資家情報」からもご視

聴いただけますので、ぜひご覧ください。

今後も株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションの更なる充実を図っていきます。



▶ アーカイブ配信中! インターネットセミナー

大和インベスター・リレーションズ主催 「個人投資家向け会社説明会」

2023.2.28開催
常務執行役員 鈴木直樹



プレゼンテーション資料(PDF)はこちら <https://www.daiwa-grp.jp/ir/presentation/>



大和証券グループの入社式を開催

2023年4月3日、入社式を開催し総勢465名が新たに当社グループの一員となりました。新入社員に向け、大和証券グループ本社執行役社長 中田 誠司が、次のメッセージを送りました。なお、本年の入社式は、昨年に引き続き、新入社員が一堂に会する集合形式で開催しました。

新入社員の皆さんにとっては、ポストコロナへと向かう社会の変化と、学生から社会人になる皆さん自身の変化という、非常に大きな二つの変化を同時に体験することになりますが、心配は不要です。選考の過程では、皆さんが大きな変化に適應できるか、リアルな証券ビジネスの場で成長し、活躍することができるかという点を特に、評価させていただきました。加えて、皆さんがお持ちの多様なバックボーンや経験を、組織の中で活かしてもらいたいと考え、画一的なスキルや能力の評価だけでなく、皆さんの「個」に焦点を当てて採用活動を行ってきました。また、学生から社会人になるのと同時並行して、社会の大きな変化に直面した世代は、決して多くはありません。この経験は皆さんにとって、また皆さんを仲間として迎える大和証券グループにとっても、将来大きな財産になるのではないかと考えています。

現代は将来を予測しづらいVUCAの時代と呼ばれていますが、一方、変化に合わせて柔軟に対応し続けることができれば、無数のビジネス機会を得られる環境でもあるわけです。こういった環境では変化を恐れず、正しくリスクをとって、新しいことにチャレンジしてこそ、大きな成果が得られると考えています。大和証券グループはそのための経営戦略と経営体力を兼ね備えています。大和証券グループが展開しているハイブリッド戦略は、独立系証券グループだからこそ持ち得る経営の自由度と、強靱

な財務基盤・経営基盤を併せ持つという、大変優れたポジションを背景に実現できています。変化の時代である現代において、ハイブリッド戦略は相当マッチしていると言えますし、また、皆さんが実力を発揮していただくにもこれ以上ないフィールドではないかと思えます。

こうした大和証券グループの戦略を実際に支えていくのは、社員の皆さん一人ひとりの力です。そこで、仕事に対する基本的な心構えを三点伝えます。一点目は「知識・ナレッジ」の習得です。時代の変化とともにお客様の価値観が多様化する中、お客様が抱える課題に対して最適なソリューションを提供するためには、高い専門能力が必要です。二点目は、「スキル・テクニック」を磨くということです。学んだナレッジをフルに活用し、お客様にベストソリューションを提供する事でこそ、知識を質の高い技術へ転化し、仕事のクオリティを上げることが出来ます。最後に、最も重要なのが「マインド」です。お客様に真摯に誠実に向き合う「顧客マインド」、コンプライアンスを守る「リーガルマインド」、何が何でもやり遂げる「セルフマインド」の3つです。この3つのマインドが揃って、初めて本当の意味で「クオリティNo.1」と言えます。

皆さんには、私たちと共に日本および世界を代表する素晴らしい真の「超一流の会社」を目指し、頑張ってくださいと思います。皆さんの成長と活躍を大いに期待しています。

文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所「就職ブランドランキング」

2024年卒・前半 総合順位 3位



IRメールサービスのご登録はこちら (ご登録・購読は無料)
当社IRに関する情報をご指定のメールアドレスにお届けします!



お客さまにより一層高度で総合的なコンサルティングの提供へ

大和証券と四国銀行の包括的業務提携

大和証券と株式会社四国銀行は、2022年3月28日に締結した包括的業務提携に関する最終契約に基づき、2023年4月3日より本提携業務を開始しました。

四国銀行に、「ファイナンシャルアドバイザー部」を新設し、高知県・徳島県内に下記の6つのファイナンシャル・アドバイザープラザ (FAプラザ) を設けました。FAプラザでは、株式、債券、ファンドラップ、保険、預金等を含めた幅広い商品・サービスラインナップを取扱うことで、お客さまにより一層高度で総合的なコンサルティングを提供します。また、各FAプラザが既存の営業店と連携することで、資産形成層から高齢者層まで幅広いお客さまに、これまで以上にきめ細やかなアドバイスを行ってまいります。

新設のファイナンシャル・アドバイザープラザ (四国銀行内)

高知県

- FAプラザ本店 (本店内)
- FAプラザ高岡 (高岡支店内)
- FAプラザ野市 (野市支店内)
- FAプラザ中村 (中村支店内)

徳島県

- FAプラザ徳島 (旧川内支店)
- FAプラザ脇町 (脇町支店内)

しあわせを、大きくする。



ロゴマークのメッセージ 「しあわせを、大きくする。」

四国銀行ロゴの円形シンボルと、大和証券ロゴのピンストライプをくみあわせて作成した「日の出」を用いることで、本提携により生まれる新しい可能性を表現しました。お客さまのしあわせを、大きくできるよう、両社で取り組んでいきます。

非上場ファンドを投資対象とする公募投資信託

日本初「ダイワ・ブラックストーン・プライベート・クレジット・ファンド」の取り扱い開始

詳細は
こちら



大和証券は、主に米国企業への直接融資を行う非上場ファンドを投資対象とする日本初の公募投資信託「ダイワ・ブラックストーン・プライベート・クレジット・ファンド」の取り扱いを2023年4月3日より開始しました。

当ファンドの投資対象である非上場ファンド「Blackstone Private Credit Fund (BCRED)」は、世界最大級のオルタナティブ投資運用会社であるブラックストーンが運用するインカムを重視する投資家向けのプライベート・クレジット・ファンドです。

企業に直接融資を行うプライベート・クレジットは、伝

統的な金融商品である株式や債券と比較して流動性が限定される反面、市場変動の影響を受けにくく安定した値動きで相対的に高い利回りが見込まれるため、お客さまのポートフォリオに組み入れることで長期的な資産形成に資することが期待されます。

当ファンドのポイント

- 1 米国企業に直接融資をするプライベート・クレジット投資を行います。
- 2 世界最大級のオルタナティブ投資会社、ブラックストーンが実質的な運用を行います。
- 3 長期に亘る堅調な運用実績を有する戦略で運用します。
- 4 毎月の分配支払いを目指します。

【ブラックストーン】

創業以来約40年にわたり、オルタナティブ運用において業界をリードし、日本を含めた世界中の機関投資家等にオルタナティブ運用戦略を提供して参りました。また、ブラックストーンのクレジット部門はプライベート・クレジットにおける世界最大手の一社として豊富な実績を有しています。

運用資産残高 (2022年12月末時点): 約2,460億米ドル (約32.6兆円^{*1})

【Blackstone Private Credit Fund (BCRED)】

これまで世界の機関投資家の資産運用に用いられてきたブラックストーンのクレジット戦略を個人投資家など幅広い投資家層に提供するために設定されたファンドです。

総資産額 (2022年12月末時点): 約489億米ドル (約6.5兆円^{*1})^{*2}

^{*1} 1米ドル=132.70円 (2022年12月末時点の為替レートのTTM) で換算。 ^{*2} 2022年12月末時点の純資産残高は約227億ドル (約3.0兆円)。

トピックス

グループのノウハウ・総合力を活かしたサービスを提供

社名変更「CONNECT」から「大和コネクト証券」へ

詳細はこちら



当社の子会社で、スマートフォン専門証券の株式会社CONNECTは、2023年5月1日に社名を「大和コネクト証券株式会社」に変更しました。

このたびの社名変更により、大和(ダイワ)を冠したブ

ランドになることで、大和証券グループとの連携をより一層強化し、グループのノウハウ・総合力を活かしたサービスを提供することで、お客さまの未来へつなげる資産形成を長期にわたってサポートしていきます。

新コンセプト「ひらけ、投資。」

投資との「はじめまして」を楽しむことで、より多くの方々の未来を、ひらいていきたい。いよいよ、新しいNISAがはじまる時。私たちCONNECTは大和コネクト証券へと生まれ変わります。120年以上の歴史を持つ大和証券グループの豊富なノウハウや知見を活用し、スマホに特化した証券会社ならではの視点で、投資の新しい可能性を切りひらき、どこまでも使いやすく、どこよりもユニークなサービスや商品を生み出していきます。投資を、もっとひらかれた存在へ。一人ひとりの想いを未来へつなぐ、新たな挑戦が始まります。

新ロゴ



幅広い国民の金融リテラシー向上に貢献

金融経済教育の取組み強化

詳細はこちら



当社グループは、証券ビジネスを通じて培ってきた金融経済分野の知識やノウハウを活かし、各世代にあわせた教材やプログラムの提供を通じて、金融経済教育に長年取り組んでいます。

金融経済教育の推進が国家戦略として議論されるなど、金融経済教育を求める声の高まりを受け、当社では2022年12月1日付で「金融経済教育担当役員」を新たに任命し、国民の金融リテラシー向上に資するグループの取組みを改めて強化することとしました。

今後も、当社独自の活動に加え、様々な団体や企業と連携することで、幅広い国民の金融リテラシー向上に貢献すべく、グループを挙げて努めていきます。

これまでの取組み

- 教材やプログラムの提供
- 出張授業、教員研修の受入れ
- 体験学習、企業見学
- 生活設計体験プログラムへの協賛
- ゲームアプリ開発
- 教育機関との連携



小学校での出張授業



ファイナンス・パークでの生活設計体験プログラム

当社グループの強みや中長期的な価値創造ストーリーを理解いただくために

日経統合報告書アワードにて優秀賞受賞

当社が発行した「統合報告書2022」が、日本経済新聞社が主催する「日経統合報告書アワード2022」において、2年連続で優秀賞を受賞しました。

また、『GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」』にも3年連続で選出されております。

今後も統合報告書の充実に取り組むとともに、ステークホルダーの皆さまとの積極的なコミュニケーションと公正かつ適時・適正な情報開示に努め、企業価値向上に努めていきます。



特設サイトはこちら





IRメールサービスのご登録はこちら(ご登録・購読は無料)
当社IRに関する情報をご指定のメールアドレスにお届けします!



国内外の各種ランキングで高評価を獲得



MSCI ESG格付け
最上位ランク「AAA」初獲得

■ 大和証券

日経ヴェリタス 2023年
アナリストランキング「株式編」会社別

5年連続
1位



国際環境非営利団体CDP
気候変動対応における世界の先進企業
最高評価「Aリスト企業」初選定

■ 大和証券

日経ヴェリタス 2023年
アナリストランキング「債券・為替編」会社別

初獲得
1位



2023 Bloomberg
Gender-Equality Index
構成銘柄に選定

■ 大和証券

2023 Institutional Investor
All-Japan Research Team

4年連続
1位

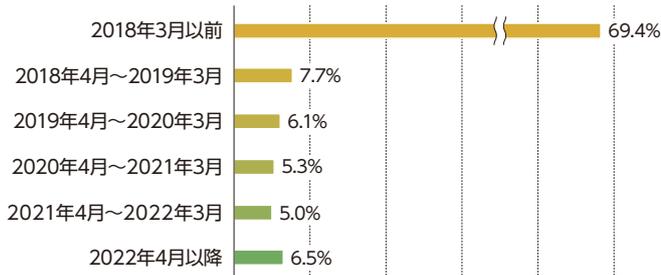
株主さまアンケート集計結果

2022年9月末株主優待にご応募いただいた約122,000名の株主さまに対して、アンケートを実施しました。

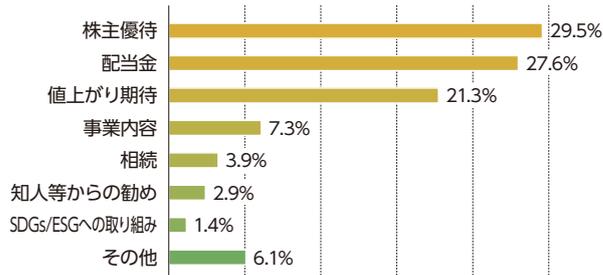
その結果、111,767名の方からご回答いただきました(回答率約91%)。皆さまのご協力に厚く御礼申し上げます。

今後もこうした機会を利用し、いただいたお声をもとに当社のIR活動の拡充を図るとともに、より充実した株主優待の展開にもつなげていきたいと考えております。

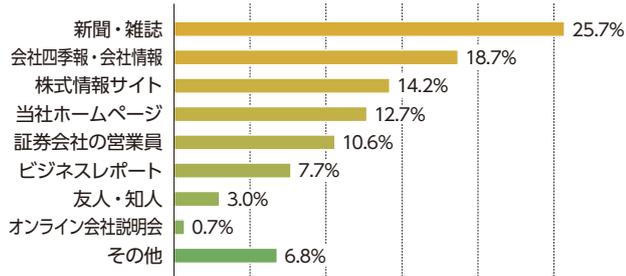
① 当社株式を最初に保有した時期



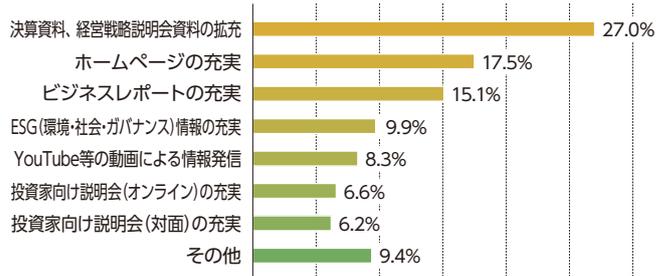
② 当社株式を取得した理由 (複数回答可)



③ 当社に関する情報の入手手段 (複数回答可)



④ 今後の拡充を望む情報開示やコミュニケーション活動 (複数回答可)



株主優待のお申込みはWebが便利です!

株主優待のお申込みは、Webからのお申込み、またはハガキ郵送で受け付けております。Webによるお申込みのご利用により、子どもの貧困問題への取り組みサポートや、一部の商品のお届けのご指定等が可能となります。

また、Web申込みをより便利にご利用いただくため、スマートフォンから二次元コードを読み取りお申込みいただける【優待スマート申込み】も開始しています。

お申し込み方法の詳細は、株主優待お申込み案内用紙をご覧ください。

株主優待 お申込みサイト

<https://www.daiwa-grp-yutai.jp/>



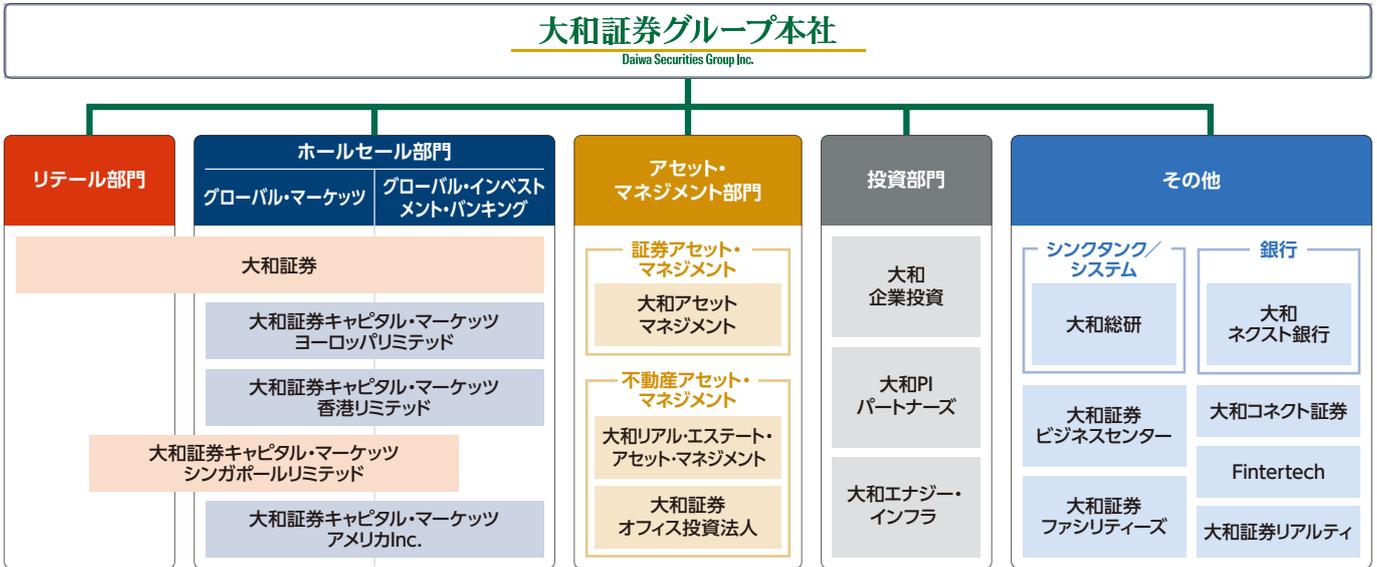
お申込み締切日

2023年7月31日(月)



会社概要／株式・株価の情報

■ 大和証券グループの主要会社構成 2023年5月31日時点



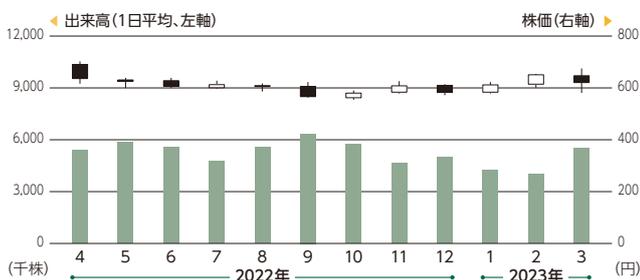
■ 会社概要 2023年3月31日現在

商号	株式会社大和証券グループ本社 英文：Daiwa Securities Group Inc.
証券コード	8601
所在地	〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
電話	(03) 5555 - 1111 (代)
創業日	1902年5月1日
設立日	1943年12月27日
代表者	執行役社長 中田 誠司
資本金	2,473億円
事業内容	有価証券関連業務およびその遂行を支援する業務を営む国内および海外の子会社、関連会社の株式又は持分を所有することによる当該会社の支配・管理
ホームページ	https://www.daiwa-grp.jp/
I R 室	ir-section@daiwa.co.jp

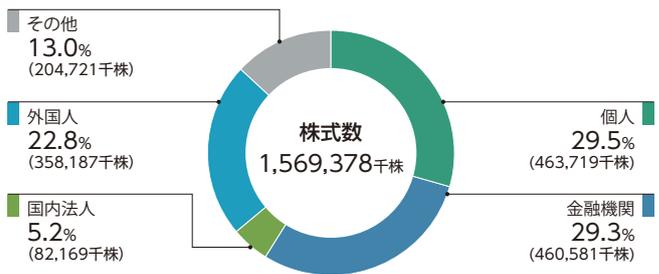
■ 東京証券取引所における当社株価 2022年4月1日～2023年3月31日

始値	高値	安値	終値	一日平均出来高
690.6	702.7	554.3	621.0	5,231千株

■ 株価および出来高の推移 2022年4月1日～2023年3月31日(東京証券取引所)



■ 株式の状況 2023年3月31日現在



(注1) 株式数は千株未満を切捨てています。
 (注2) 株式数比率は小数第2位を四捨五入しています。
 (注3) 「その他」には、政府・地方公共団体、証券会社、自己名義株式が含まれます。

■ 大株主(上位10名) 2023年3月31日現在

株主名	持株数(持株比率)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	220,984千株(15.20%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	71,699千株(4.93%)
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	42,488千株(2.92%)
太陽生命保険株式会社	41,140千株(2.83%)
日本生命保険相互会社	31,164千株(2.14%)
日本郵政株式会社	30,000千株(2.06%)
パークレイズ証券株式会社	29,660千株(2.04%)
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	26,284千株(1.80%)
大和持株会	22,387千株(1.54%)
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	19,569千株(1.34%)

(注1) 持株数は千株未満を切捨てています。
 (注2) 持株比率は小数第3位を切捨てています。
 (注3) 当社は、2023年3月31日現在、自己株式116,389,787株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
 (注4) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



IRメールサービスのご登録はこちら (ご登録・購読は無料)
当社IRに関する情報をご指定のメールアドレスにお届けします!



株主メモ

■ 株式についてのご案内

決算日	3月31日(年1回)
	期末配当 3月31日
基準日*	中間配当 9月30日
	* 剰余金の配当については、必要に応じ基準日を定めて実施することがございます。
定時株主総会	6月下旬(基準日3月31日)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
	公告掲載URL http://www.daiwa-grp.jp/ir/shareholders/

■ 住所変更のお手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きが必要となります。お手続きをお忘れになると、株主総会招集ご通知や配当金関係書類などをお届けできなくなりますので、ご注意ください。

■ 単元未満株式の買増し・買取りについて

当社では、単元未満株式に不足分を買増して単元株式数(100株)におまとめいただけるよう、単元未満株式の買増制度を採用しています。また、当社に買取請求をすることもできます。

なお、下記期間は原則として買増および買取請求の受付を停止していますので、ご注意ください。

買増請求の受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して10営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して10営業日前の日から9月30日までの間
買取請求の受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して3営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して3営業日前の日から9月30日までの間

具体的なお手続きに関するご照会はお取引先の証券会社等にお問合せください。なお、特別口座を開設された場合の買増および買取請求は下記の三井住友信託銀行の電話照会先(フリーダイヤル)までお問合せください。

■ 三井住友信託銀行 証券代行部のお問合せ先

書類請求等のご照会	0120-782-031	オペレーター対応：平日 9:00~17:00
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/	

大和証券お問合せ先

本・支店・営業所

大和証券ホームページの「店舗一覧」をご覧ください

▼ 全国のお店一覧

https://www.daiwa.jp/service/channel/brc/product_list.html



コンタクトセンター

0120-010101

受付時間
平日 8:00~18:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

お客様相談センター

03-5555-2222

受付時間
9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

「お客様相談センター」では、お客様のご意見、ご要望、苦情などを専用電話にておうかがいしています。お客様からお寄せいただいた「声」に真摯に耳を傾け、その声を企業活動に活かし、サービスやお客様満足度の向上に役立て、「お客様から選ばれる証券会社」を目指します。なお、ご注文や株価・残高照会、商品の詳しいご説明、資産運用のご相談はお取引の窓口で承ります。

株主優待

申込締切日

2023年7月31日(月)

毎年3月末と9月末の1,000株以上保有の株主さまを対象に、年2回の株主優待を実施しております。

2023年3月末株主優待の対象は、
2023年3月末の株主名簿に記録されている
当社株 **1,000株以上保有**の
株主さまです。



高齢者向け住宅の入居時費用割引

有料老人ホーム
『グッドタイムリビング』

入居時費用から
50万円割引

シニア向けマンション
『プラテシア』

入居時費用から
50万円割引



利用可能者: 株主さまおよびその配偶者さま並びにその親族さま(三親等まで)

ホテル・ゴルフ場の割引/ご優待

ご利用いただけるホテル・ゴルフ場の優待内容・ご利用方法については、当社Webサイト(<https://www.daiwa-grp.jp/ir/shareholders/privilege.html>)または1,000株以上保有の株主さまにご案内の【2023年3月末株主優待品カタログ】に掲載しております。



株主優待に関するお問合せ先〈株主優待品カタログについて〉

株主優待品カタログ事務局



0120-044-315

平日10:00-17:00

2023年8月11日(金)~16日(水)を除く

保有株式数

1,000株~2,999株
保有の株主さま

株主優待品

株主優待品
(2,000円相当)
カタログより* **1**点

3,000株~4,999株
保有の株主さま

株主優待品
(2,000円相当)
カタログより* **2**点

5,000株~9,999株
保有の株主さま

株主優待品
(5,000円相当)
カタログより **1**点

10,000株以上
保有の株主さま

株主優待品
(5,000円相当)
カタログより* **2**点

※ Webお申込み限定品からも選択可能

※ 株主優待制度の内容は、次回以降変更の可能性がございます。

「オリジナル カレンダー」 進呈について のご案内

2024年版の「オリジナルカレンダー」は、当社第86回定時株主総会において、議案の賛否にかかわらず議決権をご行使いただいた1,000株以上保有の株主さま全員への進呈とさせていただきます。

何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- カレンダーは2023年12月に郵送いたします。お申込みの手続きは不要です。
- 2023年4月1日以降に住所変更された場合は、株主優待品カタログ事務局(0120-044-315)まで必ずご連絡ください。